

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	氏家 稔	電 話	482-0924
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9053		事務事業名称	下水道維持管理事業					短縮コード	経常		臨時	9053
予算区分	会計	20	公共下水道事業特別会計	款	01	総務費	項	01	総務管理費	目	02	維持費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		下水道法第3条						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
勝田台団地の開発により公共下水道が整備され、入居に併せ昭和43年から使用を開始した。（勝田台終末処理場）													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして					
八千代市の公共下水道事業開始のもとである勝田台終末処理場が、汚水中継ポンプの設置により印旛沼流域下水道へ直接接続されたことにより、施設が廃止されたように、管理施設の変化がみられるとともに、各施設は経年による老朽化が目立ってきている。 小規模の開発も見受けられる為、それに伴う公共下水道の整備により、維持管理施設も増加していくと考えられる。						大項目（節）	05	下水道					
						中 項 目	01	下水道					
						小項目（施策）	03	維持管理の充実					
						細 項 目	01	下水道施設の維持管理					
							02	水質規制の指導監督					
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	汚水施設（污水管渠，中継ポンプ場等），雨水施設（雨水管渠，都市排水路，雨水調整池）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 汚水・雨水管渠の清掃や修繕，及び都市排水路・雨水調整池の点検や草刈等。 八千代1号幹線及び2号幹線（開渠）の浚渫							
	※平成19年度に計画していること： 汚水中継ポンプ場の維持管理，汚水・雨水管の管渠清掃・修繕，調整池の点検及び草刈等。 八千代1号幹線及び2号幹線（開渠）の浚渫。							
意図 （何を狙っているのか）	汚水や雨水が安定し排除出来る施設にする。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	快適で衛生的な市民生活。							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	下水道整備面積	ha	1,732.5	1,740.49	1,741.44	1,756.69	
	指標2	ポンプ場の数	箇所	3	3	3	3	
	指標3	汚水・雨水マンホールポンプ数	箇所	20	20	20	20	
活動指標	指標1	汚水・雨水管の管渠清掃の実施回数	回	88	75	88	75	
	指標2	人孔鉄蓋，管渠の修繕件数	件	33	50	35	50	
	指標3							
成果指標	指標1	管渠等の苦情件数	件	135	150	77	110	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		9053	事務事業名称	下水道維持管理事業		所属名	維持管理課
			単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
				実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0		
		県	千円	0	0		
		地方債	千円	0	0		
		一般財源	千円	0	0	127, 442	176, 098
		その他	千円	179, 097	227, 100	54, 489	75, 426
	主な事業費の内訳		・ 公共下水道維持管理業務委託¥65, 415, 000 ・ 公共下水道台帳作成業務委託¥4, 830, 000 ・ 公共下水道水質等試験業務委託¥777, 000	・ 修繕料¥55, 727千円 ・ 委託料¥115, 896千円 ・ 工事請負費¥19, 833千円	・ 修繕料¥48, 530, 457 ・ 委託料51, 865, 500 ・ 工事請負費¥12, 862, 500	・ 修繕料¥64, 250千円 ・ 委託料¥126, 758千円 ・ 工事請負費¥19, 581千円	
	人件費 (B)		千円	79, 888. 7	81, 378. 8	65, 933. 1	65, 911. 1
トータルコスト (A) + (B)		千円	258, 985. 7	308, 478. 8	247, 864. 1	317, 435. 1	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		・管渠の補修や水路及び調整池のフェンス改修工事により，管理物件の充実に結びついている。 。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		・上下水道が存在する限り，維持管理事業は継続し続ける必要がある。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		・公共下水道施設の維持管理，修繕等は民営化が可能である。しかし，排水区域内の下水道の利用義務付け，悪質下水の排除規制，物件の設置許可，使用料等の強制徴収，監督処分等の下水道管理者が行うべき公権力の行使に係る事務等は出来ない。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		・現状の対象と意図で結果に結びつく。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		・すでに，業務の適正化を図り，最善を尽くしており，これ以上の向上の可能性はない。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法			2		実施主体 (所管部署)	
			⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある				
	☐ ない								

コード	9053	事務事業名称	下水道維持管理事業				所属名	維持管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			既に最善を尽くしているので、現状維持としたい。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止							
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			・下水道は、健康で快適な生活を営むうえで、欠くことのできない都市基盤の根幹的要素を持つ重要な施設である。現状を超える開発が行われ都市化がさらに進むと、当然増加する污水管渠等の維持に必要な管理経費が増加することは明らかである。また、数十年経過した施設の老朽化にも対応していく必要があるため、それに充てる経費も必要となると考える。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☐			
		不 変	☐	☐	☒			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
マンホール鉄蓋の振動や騒音対策、及び、污水管の詰まりの対応、都市排水路・雨水調整池及び下水道用地の草刈や清掃の要望がある。									

所属長コメント	・下水道認可区域内での開発などによる下水道施設の増加により、事業課での維持管理施設等は年々増加しているが、日々、市民が快適な生活を送れるような維持管理を追求していきたい。								
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									